



銀河が宇宙の的（まと）に大当たり



宇宙は広大で、ほとんど何もない空間でできていますが、宇宙でのぶつかりあいはちょくちょく起こります。この写真にある銀河を見てください。これは巨大な的のように見えますが、約3億年前、小さな銀河が銀河中心にぶつかったとき、大きな的を射ぬきました。

この銀河はうずまき銀河として生まれました。この写真の銀河のように、中央を取り巻く、星と塵（ちり）が巻き付けられた長い腕（うで）がいくつかありました。でも、もっと小さな銀河がぶつかり、星がきれいに並んだ部分や銀河の中央部分をかきみだし、銀河をこのフワフワした輪でくるみました。銀河の明るいガス状の中心が片側におしやられ、らせん状の腕がゆがんでずれているのが分かります。うずまきの腕のひとつは、銀河の上部から飛び去って上方に向かっていているようすが見えます。

ぶつかった結果、しずかな湖面に小石を投げたときのように、波及（はきゅう）効果を引き起こしました。銀河全体の乱れたガスの中で、星がつぎつぎに生まれました。何百もの新しい星が生まれました。右側の2番目の写真では、これらを明るい青色の点であらわしています。

COOL FACT

天の川銀河はまた、最も近いとなりの銀河であるアンドロメダ銀河に40億年後にぶつかり、大きく形が変わってしまう運命にあります。太陽はおそらく銀河の別の場所にほうり込まれるでしょう。まったく違う夜空を見ているなんて想像できますか？

